



ふくもっちゃんの部屋 ～図書館での飲食～

西口ライブラリーでは、図書館内での飲食は**原則禁止**としています。
閲覧席・学習席をご利用の際にも、飲み物や食べ物は机の上に置かず鞆にしまってください
ようお願いしております。

眠気覚ましに
ガムでも…。



のどが渴いたから
紅茶を1杯。



館内での飲食は、資料やイスなど設備の汚破損
につながりかねません。
また、学習席に設置している蛍光灯スタンドに水が
触れると、発火するおそれもあり大変危険です。
フタが閉められるペットボトルなどであっても、机
の上には置かないでください。

OK



水分補給などは図書館外で
お願いいたします。

図書館は多くの方が利用される場所です。
マナーを守ってご利用ください。



とき
朗読会「ことのはの時間」を開催します

図書館職員による、大人のための朗読会です。

日時 令和7年6月15日(日)午後2時30分～(40分程度)
場所 コラッセふくしま3階 302会議室
定員 15名(先着順)※事前申し込み・参加費は不要です

図書館カレンダー 5月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

印は休館日

図書館カレンダー 6月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

印は「ふくよみの日」貸出2倍デー

2025年5月1日発行

編集：福島市西口ライブラリー
〒960-8053
福島市三河南町1-20
Tel.024-525-4023

発行：福島市立図書館
〒960-8018
福島市松木町1-1
Tel.024-531-6551

《図書館ホームページ》



福島市西口ライブラリー広報



西口ライヴ発信

毎月24日はふくしま読書の日です。本に親しみましょう！

2025年
5・6月号

新着本案内



『発明が変えた世界史』

祝田 秀全 監修 かみゆ歴史編集部 編
朝日新聞出版 編著
朝日新聞出版(507ハツメ)

新たに生み出された方法や技術
が、それまでの社会を大きく変え
てしまうことがあります。本書ではそ
れらを時代ごとにわけ紹介。文字
やゼロにはじまり、PCやゲームま
で、60個の発明は世界の何を変
えたのでしょうか。



『文学館を旅する』

今村 信隆 監修
イカロス出版(910.6ブンガ)

読書とは異なる角度から作家
や作品の世界を感じることがで
きる文学館。作家こだわりの愛
用品や直筆原稿、再現された書
斎の展示など全国各地の文学
館の見どころを解説します。郡
山市といわき市の文学館も掲
載されています。



『ウミウシを食べてみた』

中野 理枝 著／文一総合出版(484ナカノ)

日本近海に多く生息し、派手な色や模様が特徴のウミウシ。どうして色とりどりの見
た目になったのか、食べることはできるのかなど、ダイビングでウミウシの虜になった
研究者がその生態や研究の成果について語ります。



『オーロラの下、北極で働く』

松下 隼士 文・写真
雷鳥社(297マツシ)

北極圏の町ニーオルスンにあ
る観測基地では、過酷な環境の
中、世界中の観測隊が生活して
います。日本人の著者が、他国の
隊員との交流やコロナ禍の混乱、
ホッキョクグマとの遭遇など、
様々な出来事を綴った、約3年間
の記録です。



『図解で学ぶめくるめく』

日本語史の世界』

今野 真二 著
淡交社(810コンノ)

日本語は現在に至るまで様々
に変化してきました。例えば「母」
の発音も、宣教師が出版したキリ
シタン資料によれば、かつては
「ファファ」だったと考えられてい
ます。文献から読み解かれた日
本語の歴史を、豊富な図版ととも
に詳説します。

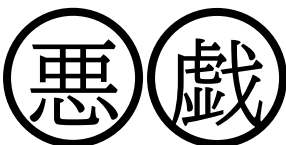
新着本



西口ライブラリーに新しく入った本を一部紹介します。

考古学者だけど、発掘が出来ません。多忙すぎる日常 青山 和夫ほか 著／ポプラ社(202 コウコ)	世界の終わりの最後の殺人 スチュアート タートン 著／文藝春秋(933 タトン)
地球の歩き方 みちのく 福島宮城岩手青森 地球の歩き方編集室 編集／Gakken(290 チキユ 10-21)	戦火のバタフライ 伊兼 源太郎 著／講談社(F イガネ)
「新しい中東」が世界を動かす 中川 浩一 著／NHK 出版(319 ナカガ)	天地震撼 伊東 潤 著／KADOKAWA(F イトウ)
不確実な時代を生きる武器としての憲法入門 大城 聡 著／旬報社(323 オオン)	ぜんぶ、あなたのためだから 夏原 エキジ 著／講談社(F ナツバ)
図解眠れなくなるほど面白い起業の話 林 尚弘 著／日本文芸社(335 ハヤシ)	車井戸は何故軋る 横溝 正史 著 末國 善己 編／東京創元社(F ヨコミ)
60 分でわかる!iDeCo 個人型確定拠出年金超入門 山崎 俊輔 著／技術評論社(364 ヤマサ)	たまごだいすき 中央公論新社 編／中央公論新社(P 914.6 タマゴ)
「免疫、マジわからん」と思ったときに読む本 中尾 篤人 著／オーム社(491 ナカオ)	凶弾のゆくえ サンドラ ブラウン 著 林 啓恵 訳／集英社(P 933 ブラウ)
そのせき、ぜんそくかもしれません 宮崎 雅樹 著／自由国民社(493 ミヤザ)	若さま九郎と岡っ引弁慶 聖 龍人 著／コスミック出版(P F ヒジリ)
中華、これでよかったんだ! 脇屋 友詞 著／世界文化社(596 ワキヤ)	復讐は感傷的に 三日月 零 著／宝島社(P F ミツカ)
「蔦重版」の世界 鈴木 俊幸 著／NHK 出版(910.2 スズキ)	まぐさ桶の犬 若竹 七海 著／文藝春秋(P F ワカタ)

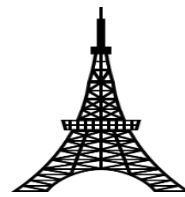
作家と



狐狸庵(こりあん)の雅号でユーモアあふれるエッセイを多く残した遠藤周作は、悪戯が好きな人でした。三浦朱門に電話をした際は、税務署を名乗り自動車税が未払いのため差し押さえると伝え、電話口の三浦朱門を絶叫させたりしました。有吉佐和子には外国人、吉行淳之介には警察を装うなど、仲間内に悪戯電話を次々とかけていました。そんな悪戯にもルールがありネタ晴らしを必ずして、最後はお互いに笑える結末が望ましいと語っています。さらに、遠藤と対談したさくらももこは、「いい医者を紹介するから自分の家に電話するように」と遠藤から電話番号を渡され、かけてみたら東京ガスの電話番号だった、というエピソードを残しています。遊び心あふれる人だったようですね。

参考文献：『ぐうたら社会学』遠藤 周作 著／集英社（P 9 1 4． 6 エンド）
『さるのこしかけ』さくら ももこ 著／集英社（P 9 1 4． 6 サクラ）

ライブラリアンの



展示★名作案内

昭和 ～今年で100年～



捨てない・買わない生活をしてみませんか？

『昭和なくらし方』
小泉 和子 著
河出書房新社(590コイズ)
電気に頼りすぎない、なんでも使い捨てにせずリサイクルする…。環境汚染や物価の上昇が問題になっている今こそ、昔ながらの知恵から学べることはたくさんあります。エコで少し懐かしい「くらしのコツ」を集めました。



あなたの思い出の場所もあるかも？

『図説なつかしの遊園地・動物園』
生田 誠 著
河出書房新社(689イクタ)
太平洋戦争中の閉園を乗り越え、令和の時代も続いた豊島園をはじめ、全国の遊園地や動物園を紹介します。筆者が収集した当時の園内案内図、入場チケットなどの貴重な資料もカラーで掲載しています。



どの人生も唯一無二。

『後列のひと』
清武 英利 著／文藝春秋(281キヨタ)
歴史の表舞台ではなく、目立たなくとも後ろから時代を支えた人たちがいます。戦時中に事故死した戦闘機のテストパイロットや、戦後ベトナムに残った残留日本兵など、激動の戦後を生きた人々の記録です。



「芸に生きる」とは、まさしくこのこと！

『美空ひばり恋し』
関口 範子 著
主婦と生活社(767ミソラ)
昭和を代表するスター、美空ひばり。その歌声に当時多くの人々が魅了されました。母と二人三脚で挑んだ舞台の裏側や幅広い交友関係、病気と闘っていた晩年など、長年付き人を務めた著者が、ありのままの姿を綴ります。



続編は『謎が解けたら、ごきげんよう』です。

『昭和少女探偵団』
彩藤 アザミ 著
新潮文庫刊(PFサイド)
女学校に通う14歳の茜は、とある事件をきっかけに才女・潮、変人・環とともに探偵団を結成する。怪文書やドッペルゲンゲル、消えた婚約者など、少女探偵団が身近で起こった事件解決に挑む。昭和を舞台にしたレトロな雰囲気漂うミステリー。